

金属部会 C P D 技術セミナー19

技術者倫理 企業不正・地域での技術者倫理活動・DE&Iの視点

技術セミナー開催のご案内

19 技術者倫理3 2026年2月8日（日）

座長：中山佳則

セミナー会費：500円

今年度末も技術者倫理セミナーの3回目を行います。今回は、企業不正に関して、北陸本部倫理委員会での活動、DE&Iの視点から見た技術者倫理を紹介します。

第1講13:00- 河合保幸「技術者倫理のリスクマネジメントから考える企業不正」

技術士倫理綱領は、企業倫理・CSR・コンプライアンスをつなぎ、技術者の判断と組織の責任を結ぶ“接着剤”となります。倫理の基本を踏まえ、関係性を整理し、技術者倫理の視点からリスク評価を示します。企業不祥事の事例を通じて、公衆の安全を守る全社的なリスクマネジメントや品質コンプライアンスリスクの評価、活動の実効性、人材育成における行動規範とコンプライアンス教育のあり方について検討します。

第2講14:10- 村山達也「北陸本部倫理委員会での技術者倫理活動」

北陸本部 倫理委員会では「日々の技術的業務のなかにこそある身近な倫理」を掲げ、技術者倫理に関する研修会の開催や、企業・団体への啓発活動を実施してきました。今回は特に好評を得ております技術研修会への講師派遣について、具体的な取り組みとしてご紹介いたします。倫理は特別な場にあるものではなく、日々の判断と行動の積み重ねに宿ります。本研修が明日からの現場に生かせる「身近な倫理」を振り返るきっかけになれば幸いです。

第3講15:20- 藤間美子「技術者の倫理的な意思決定におけるDE&Iの視点」

技術者が社会に対して責任を果たすには公正で倫理的な行動が求められます。その意思決定においては、「多様性（Diversity）」「公平性（Equity）」「包摂性（Inclusion）」の3つを重視し、すべての人が安心して活躍できる環境を目指すDE&Iの視点が欠かせません。金属部会のDE&I活動（Metals DE&I メタルズ デアイ）に寄せられた意見や日本技術士会の取り組みを参考に、企業事例も交えながら、公平性と多様性の重要性について考察します。

技術セミナー次回以降開催のご案内

20 未定

21 未定

主催 日本技術士会金属部会